

# ベルリン本『百夷館来文』に見える百夷語の資料について

更科 慎一

## 一、はじめに

『百夷館訳語』は、明代の中国において外交文書の作成と読解を所管する四夷館で編纂された『(乙種本) 華夷訳語』の一語種を成す百夷語の教科書であり、乙種本の他の語種と同じく、「雑字」と呼ばれる対訳語彙集と、「来文」と呼ばれる対訳文例集を内容とする。

我が国における『百夷館訳語』の代表的な研究として泉井久之助(1949)がある。泉井(1949)は、冒頭に百夷語の文字とその音価を一覧して掲げた上で、東洋文庫本の雑字677項目及び同本来文15通について、漢語と百夷語(ローマ字転写)の原文を掲げて、注釈を施し、最後に本資料から明らかになった百夷語の構造についてタイ諸語と比較しつつ論じたもので、本『訳語』を研究する上でまず参照すべき、全面的な研究であると言える。

今、タイ諸語が専門でなく、雲南・北部タイ地域の歴史の専門家でもなく、中国語の音韻を研究している本稿筆者がこの資料を取り上げるのは、泉井氏の卓越した比較言語学研究成果に何か新たなものを付け加えることを意図してではなく、『華夷訳語』の音訳漢字(漢字を用いて非漢語の発音を表記したもの)研究の一環としてであり、本稿は、自身の音訳漢字研究の一種の副産物と言うべきものである。一般に乙種本華夷訳語の来文は音訳漢字を含まないので、本稿筆者の立場から見て、当初は興味の大きいものではなかった。ところが、実際の来文に、音訳漢字とは逆に、漢語音を民族文字で表記したものが含まれており、特に『百夷館訳語』、『八百館訳語』、『緬甸館訳語』などに、来文の漢文面のほぼすべてを、それぞれの言語の文字を用いて音写した部分が含まれていることを知る<sup>1</sup>に至り、音訳漢字の研究上からもこれらを見逃すことができないと認識するようになった。

『百夷館訳語』の来文の場合、漢文面の百夷文字音写が、漢文面の百夷語への通常の翻訳(中国式に言えば「意識」)がひとくさり終わるごとに挿入されるという特異な形式をとっている。この事実については、泉井(1949)にも当然指摘がある<sup>2</sup>が、泉井(1949)の主たる関心は百夷語にあり、百夷文字表記漢語については、ローマ字転写は為されているが、音韻に関して特段の分析は行われていない。そこで本稿筆者は、更科(近刊a)において、この資料に現れた百夷文字表記漢語に対して、簡単な音韻史的分析を行ったのである。

泉井(1949)は『百夷館訳語』のテキストとして東洋文庫本を用いているが、よく知られているように、『華夷訳語』のテキストは多くの異本があって、中国本土・台湾・日本・ヨーロッパ諸国に所蔵されている。特に来文の場合、各地に所蔵されるテキストごとに、収められた来文の通数が大きく相違する場合が少なくない。今差し当たって、百夷館来文について、東洋文庫本、ベルリン本(Staatbibliothek zu Berlinがweb上に公開している写真<sup>3</sup>)、及び内閣文庫本(現在の国立公文書館に所蔵される『西域同文表』<sup>4</sup>)の三本に収録された来文の対照表を作成してみると次表の通りである。括

<sup>1</sup> 八百館来文の漢語音について、本稿筆者は別に一文(更科(近刊b))を草した。

<sup>2</sup> 泉井(1949: 245)。

<sup>3</sup> <https://digital.staatsbibliothek-berlin.de/suche/>から「hua yi yi yu」で検索して閲覧。

<sup>4</sup> 国立公文書館デジタルアーカイブ(<https://www.digital.archives.go.jp/DAS/meta/listPhoto?LANG=default&ID=M2015090713155711285&TYPE=>)から閲覧。なお、この来文(『百夷館表文』)は、漢文と百夷文の対照という体裁は他本と同じであるが、百夷文面が漢文面の百夷文字音写のみから成り、特異である。

弧の外側の数字は各本においてその来文が何番目に在るかを示し、括弧内の数字は各本におけるその来文（漢文面冒頭）の所在葉数を表す。“—”は該当の来文がその本に存在しないことを示す。

来文の奏上（告稟）者	伯林本	東洋文庫本	内閣文庫本	備考
雲南鎮康州知州 <u>刀門憂</u>	1 (1a)	1 (1a)	1 (1a)	伯林本は漢文面を欠く
雲南木邦軍民宣慰使司宣慰使 <u>罕列法</u>	—	2 (3a)	2 (3a)	
木邦軍民宣慰使司差来頭目 <u>改車</u> 等	—	3 (5a)	3 (5a)	
大候州土官知州 <u>捧吉法</u>	2 (2a)	9 (17a)	8 (15a)	
灣甸州土官知州 <u>景都法</u>	3 (4a)	8 (15a)	7 (13a)	
孟養金沙江小奴婢 <u>思六法</u>	4 (6a)	4 (7a)	4 (7a)	
木邦軍民宣慰使司宣慰使 <u>罕列法</u>	—	5 (9a)	—	東洋文庫本第2通とほとんど同一内容
雲南景東府土官知府 <u>陶瓚</u>	5 (8a)	—	—	
孟養安撫司土官安撫 <u>思答羨</u>	6 (10a)	7 (13a)	6 (11a)	
孟密安撫司土官安撫 <u>罕列</u>	7 (12a)	15 (29a)	13 (25a)	
鎮康州頭目 <u>刀改車</u>	8 (14a)	6 (11a)	5 (9a)	
孟璉長官司長官 <u>多歪悶</u>	9 (16a)	—	—	
孟養長官司長官 <u>刀罕門</u>	10 (18a)	—	14 (27a)	
雲南宝井地方舍人 <u>招六</u>	11 (20a)	11 (21a)	10 (19a)	
孟養護印土官 <u>思落</u>	12 (22a)	10 (19a)	9 (17a)	
孟楞長官司長官 <u>思答羨</u>	13 (24a)	—	15 (29a)	
木邦宣慰 <u>罕列法</u>	14 (26a)	12 (23a)	11 (21a)	
雲南干涯宣撫司土官宣撫 <u>刀改闊</u>	—	13 (25a)	—	
大候州土官知州 <u>刀貢</u>	—	14 (27a)	12 (23a)	
孟定府土官知府 <u>刀孟扛</u>	15 (28a)	—	—	
孟養安撫司差来頭目 <u>刀扛</u>	16 (30a)	—	—	
南甸宣撫司宣撫 <u>刀怕便</u>	17 (32a)	—	—	
隴川宣撫司舍人 <u>多卓孟</u>	18 (34a)	—	—	

この表からわかるように、ベルリン本の中に、泉井（1949）が資料とした東洋文庫本にはない来文が八通含まれている。そこで、本資料を活用するために、この八通の来文についても、泉井（1949）が行ったような注釈を施す必要がある。その注釈が本稿の主要な部分である。

『百夷館訳語』には、来文のほか、雑字にも、東洋文庫本にはない部分を含む諸本が存在する。一般に『(乙種本) 華夷訳語』の雑字には、本編たる語彙の後ろに、あるいは本編とは別冊の形で、増補語彙が存在しているテキストが多い。百夷館雑字について言えば、ベルリン本及び復旦大学蔵「四庫存目書」本に、増補語彙288項目が存在している。本稿ではこの部分を「(雑字) 続編」と呼び、雑字本編677項目とは別に項番号を付す。また、復旦大学本と天一閣本では、本編の第677項の後ろに、更に別の語彙項目50条が付け加えられている。本稿ではこの部分を「後附50項目」と仮に呼び、本

編から通して項番号をつけている (Nos. 678-727)。この後附50項と続編288項は東洋文庫本にはなく、泉井 (1949) でも扱われていないが、百夷館来文には、特に後附50項に登録された語が頻繁に用いられていることを、ここで特に記しておく。

## 二、注釈

### 注釈凡例

- ・資料の範囲。ベルリン本百夷館来文のうち、東洋文庫本に同じ文面が見られず、従って泉井 (1949) において扱われていない第5, 9, 10, 13, 15, 16, 17, 18通の来文について、原文の漢語文面 (原文の縦書きを横書きに変更) と百夷語文面 (ローマ字転写) を示すほか、百夷語の各語句のすぐ下に、対応していると筆者が考える漢文面を書き入れる。その後、適宜注釈を与える。
- ・ローマ字転写は泉井 (1949) の方式ではなく、西田 (1960, 2001) を基礎として改訂した更科 (近刊 a) の方式によるが、泉井 (1949) の方式と大きな隔たりがあるわけではない。泉井 (1949) との主な違いは、長母音の表記に  $\bar{a}$ ,  $\bar{i}$  など符号を用いるのではなく  $aa$ ,  $ii$  のように字母の重畳を用いたこと、有気音符号 “ $h$ ” を  $h$  としたこと (以上二点は印刷の便のため)、泉井 (1949) の介子音  $-ü$  を  $-i$  としたこと、及び泉井 (1949) が  $f$  と転写する字母を  $ph$  としたことである。詳細は更科 (近刊 a) を参照。
- ・漢文面には繁体字を用いるが、原文 (墨書) の異体字を正確に再現してはいない<sup>5</sup>。百夷文面以下の説明に漢字を用いる際は日本通行字体を用いる。
- ・百夷語文面に対応する漢語を記した部分においては、固有名詞の漢字に下線を引き、百夷文字表記を漢文面に還元した部分には枠をつけて、識別の便を図った。
- ・百夷語文面において、直接対応する漢文面を欠く語句は、《 》に入れてその大意を示した。
- ・注釈は、「雑字」において立項されていないものを中心に施した。雑字に立項されている語句に関しては多く省略し、本稿末の索引 A 「「雑字」に見える語の索引」への参照を以て語釈に代える。
- ・当然のことながら、百夷語文面中に出現する語句には、東洋文庫本にすでに現れ、泉井 (1949) が言及しているものが少なくないため、本稿においても泉井 (1949) は常に参照される。現代タイ系諸言語としては、タイ・ヌア語 (徳宏傣語。注釈において「TN」と略記する) が圧倒的に多く参照される。タイ・ヌア語の検索に当たっては Luo (1999) 及び周・方・郝 (2005) を用いたが、後者に収録された語句はだいたい前者にも載っており、実際の引用に際しては Luo (1999) を示したところがほとんどである。

因みに、各文献の記述におけるタイ・ヌア語の調号、調値の関係は次の通りである。各記述は調類・調値ともほぼ一致しているが、調号、即ち調類の番号が異なっている：

共通タイ (Li (1977))		A1	A2	B1	B2	C1	C2	D1L	D1S	D2
Luo (1999)	調号	1/6	2	3	6	4	5	3	3/1	5
々	調値	24/33	53	11	33	31	43	11	11/24	43
周・方・郝 (2005)	調号	6/1	2	3	1	4	5	3	6	5
々	調値	35/33	55	11	33	31	53	11	35	53
羅 (2008)	調号	1/6	2	5	6	3	4	9	7	8
々	調値	35/33	55	11	33	31	53	11	35	53

<sup>5</sup> 「来」「曾」など、ベルリン本の字体が繁体字よりもむしろ日本通行字体と一致するものもある。

・百夷文字表記漢語については更科（近刊 a）に譲り、本稿ではほとんど注釈をつけていないが、原文に誤脱があると思われる箇所のみ、その旨を指摘した。

ベルリン本第五通（第8-9葉）

雲南景東府土官知府陶瓚奏  
 天皇帝知道普天下地方都是  
 天皇帝管理似我奴婢地方人民安  
 業辦納差發並無違悞今備象  
 二隻孔雀尾八把差人前去進  
 貢望

天皇帝可憐見收了便益

- 1) mǒng chĩe mǒng kuu phuu khon mǒng cii phuu<sup>(1)</sup> thaw can le<sup>(2)</sup> hau lau  
 雲 南 景 東 府 土 官 知 府 陶 瓚 《而》 奏
- 2) phaa wǎng tĩe ru né<sup>(3)</sup> | cow thañ hang tii cii taw le tũau phaa nǒw nin<sup>(4)</sup> kǎ lak<sup>(5)</sup> mǒng<sup>(6)</sup>  
 天 皇 帝 知 道 《矣》 奏 天 皇 帝 知 道 《而》 下 天 上 地 普 地 方
- 3) phaa wǎng tĩe sǎng yau<sup>(7)</sup> | phuu thañ haa tii phang tu chii thañ hang tii kũan li le nang<sup>(8)</sup> kaw<sup>(9)</sup>  
 天 皇 帝 管 理 普 天 下 地 方 都 是 天 皇 帝 管 理 《而》 似 我
- 4) khraa mǒng man | sii 'à no poy tii phang le phu kon tai lik<sup>(10)</sup> nai yu nai svau |  
 奴 婢 地 方 似 我 奴 婢 地 方 《而》 人 民 安 業
- 5) yin min ngan yac le rǎñ sǎe lǒn<sup>(11)</sup> | pan nap chai phak le sii<sup>(12)</sup> maw kōt  
 人 民 安 業 《而》 辦 納 差 發 辦 納 差 發 《而》 並 無 違
- 6) maw rang<sup>(13)</sup> | ping wok woy wok le mǒw nai rǎñ nai<sup>(14)</sup> cang<sup>(15)</sup> [2]<sup>(16)</sup> tu<sup>(17)</sup> | kin poy sang  
 無 悞 並 無 違 悞 《而》 今 備 得 象 二 隻 今 備 象
- 7) ōw cii le nok rang yong<sup>(18)</sup> [8]<sup>(19)</sup> pan<sup>(19)</sup> | khom cǔak wii paa pa' le cau<sup>(20)</sup> kon pai kam  
 二 隻 《而》 《鳥》 尾 孔 雀 八 把 孔 雀 尾 八 把 《而》 差 人 去 前
- 8) naa sǎng kong | chai yin sǎñ khūat sǎng kong le wan  
 進 貢 差 人 前 去 進 貢 《而》 望
- 9) phaa wǎng tĩe khǎñ it no<sup>(21)</sup> nap wai né | wang thañ hang tii khǎ lañ kañ chiw raw pañ yii.  
 天 皇 帝 可 憐 見 收 了 《矣》 望 天 皇 帝 可 憐 見 收 了 便 益

- (1) cii phuu : 知府。漢語借用語。
- (2) le : 来文各篇において、漢文面の音訳の末尾に見える。この語自身は漢文面において対応する語を持たず、「雑字」にも見えない。泉井（1949）は漢文の“而”で訳している。何らかの語気助詞であろう。なお次の注釈（3）を参照。
- (3) né : 奏上文各篇に出現する文言“天皇帝知道”の訳の末尾に主に現れる。前項（2）の le と同様、漢文面に対応する語を持たず「雑字」にも見えない。泉井（1949）は漢文の“矣”で訳し、次のように注釈している：参照、シャン語<sup>6</sup>ne 《assuredly》, またシャン語において注意を喚起し、対象を対示するときの嘆詞、更に命令形に附加せられて嘆願の意をもあらはす。【以下略—

<sup>6</sup> 泉井（1949）において頻繁に引用される「シャン語」はJ. N. Cushingの著作に記述されたビルマのMǒng-naiを中心とするシャン方言を指す（泉井（1949: 199））。

- 引用者】(泉井 (1949: 248)) また TN、le6 “Sentence particle (expressing agreement)” (Luo (1999: 69))。但し、この le6 は前項 (2) の le にあたる語かもしれない (TN は声母の n と l を区別しない)。
- (4) *t̃au phaa n̄ow nin*: 漢文面「天下」。phaa は「天」(雑字1)。t̃au は「下」(雑字645)、n̄ow は「上」(雑字644) を意味するが、雑字での形は前置成分 *kaŋ* がついて *kaŋ t̃au*、*kaŋ n̄ow* となっている。nin は百夷館雑字続編41「坤」: 吝 nin と同一語で“土”を意味する。また八百館雑字92「土」: 吝 *din*; 暹羅館雑字68「土」: 虞 *Diin*。
- (5) *k̄a lak*: 漢文面「普…都是」に当たる。詳細不明。泉井 (1949: 247) はこの語に「あらゆる」という逐語訳を与えている。
- (6) *m̄ong*: 漢文面「地方」に当たる。但し同じ語は本来文4行目では *m̄ong man* と百夷語訳され、「雑字」の「地方」(59) の訳語も *m̄ong man* である。TN、*m̄əŋ2* “country, (flat) area, open plain” (Luo 1999: 102)。
- (7) *s̄iang yau*: 漢文面「管理」に当たる。泉井 (1949: 248) は、*s̄iang* を《号令する》、*yau* を「《留まる, 住する》の原意より事態もしくは行為の継続を示す助詞となる」と解している。なお、“普天下地方都是天皇帝管理”の文言は東洋文庫本第1, 2, 9通及びベルリン本の第13通にも見え、百夷語文面も一致する。
- (8) *nang*: 漢文面「似」。雑字715 “照旧” *nang kau* の第一要素に見える。TN、*laŋ1* “to be like, as, to be alike” (Luo (1999: 65))、また *laŋ3* “like, as” (ibid., p.66)。
- (9) *kaw*: 「我」。khraa “奴婢” と結合し来文中に頻出する。TN、*kau6* “I, me” (Luo 1999: 43)。
- (10) *phu kon tai lik*: 「人民」の訳語として来文中に頻出する。*phu* は TN、*phu3* “noun prefix indicating people of a certain profession” (Luo 1999: 137); 雑字では、369 「農」*phu hac na'*、370 「商人」*phu hac ka' khai*、373 「婦人」(以下百夷語略)、374 「男子」、375 「樂人」、383 「樵」に見える。*kon* は TN、*kon2* “human beings, people, person, person skilled in certain profession” (Luo 1999: 48); 雑字では、313 「人倫」*ton kon* の第二要素に見える。*tai lik* は雑字372 「民」*tai lik* として見え、泉井 (1949: 231) は「*tai* 《タイ族》、*lik* 《小》、つまり卑称。」と注釈している。
- (11) *l̄on*: 漢文面「差発」に当たるが不詳。「差発」は雑字700に *nḡon k̄on* と見え、来文にも頻出するが、そこでも *nḡon k̄on* と訳されている。誤記か。
- (12) *sii*: 漢文面「並」に当たる。「雑字」に見えず。泉井 (1949: 252) は、東洋文庫本第二通に現れたこの語に対し、シャム語<sup>7</sup> *si* を引いて《確に》、《誤なく》と解している。按ずるに、TN、*si1* “(often used with negatives) (not) at all” (Luo (1999: 151))。
- (13) *maw k̄ot maw rang*: 漢文面「並無違悞」に当たる。*maw* は否定辞で、「雑字」では単独に立項しないものの304 「不知」*maw ru* ほかに見える。後附50項目の No. 710に「違悞」*k̄ot rang* が見える。泉井 (1949) は、*rang* について、語頭の *r*- が *h*- に転化している<sup>8</sup> と見て *hang* と転写している (泉井 (1949: 252)) が、本稿では、字母としての *r* を一律に *r* で転写し、*h* とはしない。因みに上掲雑字 (710) *k̄ot rang* の音訳漢字は“革浪”で、*r* の読みを示唆する。
- (14) *riãñ nai*: 漢文面「備得」に当たる。*riãñ* は本篇第5行に見える「辦納」*riãñ sie* の第一要素と同じ語で、*nai* は雑字222「聞」*nai ngin* に見える *nai* と同一語と見られる<sup>9</sup>。泉井 (1949) は、*riãñ* (泉

<sup>7</sup> 現タイ王国の標準的タイ語を指す。本稿筆者もこの用語を使用することがある。

<sup>8</sup> 泉井 (1949: 209-210)。

<sup>9</sup> 泉井 (1949: 226) のこの項に対する注釈: 《聞き能ふ (nai)》。

井氏の転写は hūañ) については “hūañ (シャン語 heñ', hin') 《用意する, 調へる, 調達する》。[以下略]” と語釈し (249頁)、nai については “原義《取得す》, シャン語 lai” と語釈している (249頁)。按ずるに、TN、hen2 “to prepare, to pack up, to get ready” (Luo 1999: 26) ; lai4 “to get, to obtain”、また “to be able to, to be permitted to do” (Luo 1999: 62)。

- (15) **cang** : 漢文面「象」に当たる。「雑字」における「象」は単独で鳥獸門に立項されてはならず、ただ複合語の一部として、珍宝門614「象牙」nga' cang、後附50項の701「犀象」khwau cang、続編鳥獸門146「白象」phök cang、同147「紫象」kam cang に出現する。TN、tsaang5 “elephant” (Luo 1999: 196)。
- (16) [2] : 1から10までの数詞は、「百夷館訳語」(雑字・訳語とも) において百夷文字特有の数字で書かれ、音標文字では書かれない<sup>10</sup>。本稿の転写に当たっては、百夷文字の数字は [ ] 内にアラビア数字を入れて示す。
- (17) **tu** : 漢文面「隻」に当たる。「雑字」に見えず。泉井氏の東洋文庫本第一通に対する注釈では “原義《軀》, シャム語 twa, シャン語 tuw. 次いでまた動物を算へるときの助数詞となる” (泉井 (1949: 249)) とする。按ずるに、TN、to6 “1. Body [...] 3. Noun stem indicating animate things, animals, or other living creatures [...] 4. Classifier for the preceding. [...]” (Luo 1999: 175)。なお現代の傣語諸方言では、“2” 以上の数の数量表現の語順はふつう [名詞] + [数詞] + [量詞] であり<sup>11</sup>、本来文の語順と一致している。上に挙げた Luo1999の to6の第四項の用例にも mu1 sɔŋ1 to6 “two pigs” とある (按: mu1「豚」、sɔŋ1「二」)。
- (18) **nok rang yong** : この語句は東洋文庫本来文に見える。泉井氏の逐語訳は “鳥-尾-孔雀” (泉井 (1949: 248)) である。nok は「鳥」(雑字180)。雑字 (171) には nok yong「孔雀」という語も見える (cf. TN、lok5 yuŋ2 “peacock” (Luo 1999: 74))。rang は TN、haaŋ1 “tail” (Luo 1999: 18) に当たる。タイ諸語の語順から考えると rang nok yong が期待されるが、後考に俟つ。また雑字173「鳳凰」は nok rang haa となっており、泉井 (1949: 224) もすでに指摘する通り、「鳥-尾-五」即ち「五つの尾をもつ鳥」の意<sup>12</sup>である。ここで rang には音訳漢字 “浪” が当てられており、この語の声母が [h] ではなく [r] と発音されていたことを示唆する。
- (19) **pan** : 漢文面「把」に当たる。「雑字」人事門266に「揪」pan と見える。按ずるに、TN、paan3 “to take care of (things) , to handle” (Luo 1999: 110) と関係のある語かもしれない。
- (20) **cau** : 漢文面「差」に当たる。東洋文庫本来文に見え、泉井氏の逐語訳は「遣はす 命す」(泉井 (1949: 248))。また、「雑字」後附50項の705「差来」cau ma' 参照。按、TN、tsai5 “to assign, send” “to serve, to render service to, to look after” (Luo 1999: 199)。
- (21) **khĩañ it no** : 来文に頻出する「望天皇帝可憐見」の「可憐見」に当たり、うち it no は「雑字」後附703に「憐憫」として見える。百夷語の第二音節 “no” の綴りが復旦本と天一閣本とで異なっており、前者は nu、後者は no である (百夷文字では、母音符号 u と o は下点で区別され、一点があれば u、無点であれば o である)。泉井氏は it に「憐む」、no に「看る」(その根拠として、雑字218「看」nu を提示) の逐語訳を与えている (泉井 (1949: 248, 250))。khĩañ は雑字に見えず、泉井氏は “シャン語 k'iñ, k'eñ (《polite imperative form》)” と注釈する (泉井 (1949: 250))。なお khĩañ は第十五通 (第10行) では漢文面「乞」の訳として出現する。

<sup>10</sup> 但し「五」のみは音標文字で書かれる。

<sup>11</sup> 羅 (2008: 43-44)。

<sup>12</sup> 泉井氏の原文は “《五尾鳥》の謂。”

## 第九通 (第16-17葉)

孟璉長官司長官多歪悶奏

天皇帝知道我奴婢自祖父以來蒙

天皇帝設立衙門給賜冠帶着管理

人民辦納差發並不曾違悞今

備得金銀器皿等件前去進貢

天皇帝收了便益

- 1) mǒng liǎn cāng kǔān sǒw<sup>(1)</sup> cāng kǔān tǎ wai mon le hau lau  
孟 璉 長 官 司 長 官 多 歪 悶 《而》 奏
- 2) phaa wǎng tǐe ru né | cow thañ hang tii cii taw le kaw khraa cǐām<sup>(2)</sup> pu pǎ<sup>(3)</sup> ma' phai nai<sup>(4)</sup> | 'ǎ  
天 皇 帝 知 道 《矣》 奏 天 皇 帝 知 道 《而》 我 奴 婢 自 祖 父 以 來 [我]
- 3) no poy cii cu phuu yii lai le ñang<sup>(5)</sup>  
[奴 婢 自 祖 父 以 來] 《而》 蒙
- 4) phaa wǎng tǐe poot hac chǒng chǐe | moong thañ hang tii chǐe lik yaa mon le poong hau mok  
天 皇 帝 設 立 衙 門 [蒙 天 皇 帝 設 立 衙 門] 《而》 給 賜 冠
- 5) rǎ<sup>(6)</sup> sai rang<sup>(7)</sup> | kii sii kǔān tai le hau<sup>(8)</sup> rǐac thín phu kon tai lik | cūak kǔān  
帶 [給 賜 冠 帶] 《而》 着 管 理 人 民 [着 管]
- 6) li yin min le rǐañ sǐe ngǒn kǒn | pan nap chai phak le sii maw kǒöt  
[理 人 民] 《而》 辦 納 差 發 [辦 納 差 發] 《而》 並 不 曾 違
- 7) maw rang | ping pok sǒng woy wok le mǒw nai rǐañ nai khǒng ngǒn khǒng kham<sup>(9)</sup> ku cǔang<sup>(10)</sup> |  
不 曾 悞 [並 不 曾 違 悞] 《而》 今 備 得 《器》 銀 《器》 金 等 件
- 8) kin poy tǒk kin yin khii min tǒng kǐañ le pai kam naa sǐang kong | sǐañ sǐang  
[今 備 得 金 銀 器 皿 等 件] 《而》 去 前 進 貢 [前 去]
- 9) sǐang kong le  
[進 貢] 《而》
- 10) phaa wǎng tǐe nap wai né | sǐañ khūat sǐang kong<sup>(11)</sup> thañ hang tii chiw raw pañ pañ<sup>(12)</sup> yii  
天 皇 帝 收 了 《矣》 [前 去 進 貢 天 皇 帝 收 了 便 便 益]

(1) sǒw : 漢文面「司」。漢語からの借用語。

(2) cǐām : 漢文面「自」に当たる。東洋文庫本来文第二通に現れたこの語につき、泉井 (1949: 252) は単に「より」と逐語訳を与える。按ずるに、TN、tsem6 “since, from the time (of)” (Luo 1999: 201)。

(3) pu pǎ : 漢文面「祖父」に当たる。pu は雑字340「公」、pǎ は雑字342「父」として立項されている。

(4) ma' phai nai : 漢文面「以来」に当たる。雑字には立項されないが東洋文庫本来文には見え、泉井氏は ma' に「来る、まで」(ma' については第十三通の注(6)を参照)、phai nai に「側-此；今、ここ」との逐語訳を与えた上、後者については「シャン語 p'ai~nai. 《this side》. 即ち《こちら、今》。」と注釈している (泉井 (1949: 256))。按ずるに、TN、faai3 “side” (Luo 1999: 13) ; lai5 “this” (ibid., p.63)。なお nai については、雑字後附50項の719「如今」tǎ nai 及び同722「為因」pǒw nai に見える nai と同一語と思われる。

- (5) *ňang*: 漢文面「蒙」に当たり「雑字」後附50項の680に見える。東洋文庫本来文にも5回出現し、泉井(1949: 248)はこの語をアーホム語 *ňang* または *nang* 《to be, to sit》に比定した上で、「《蒙》の意味と機能において用ゐられることは、管見の及ぶ範囲においては、他のタイ諸語に類例を見ない」と述べている。なお『百夷館来文』における *ňang* は、「有」の訳としても頻繁に用いられる(東洋文庫本に8回。ベルリン本特有部分での出現については本稿末の索引 A 参照)。泉井氏が挙げるアーホム語 *ňang* または *nang* の語義に合うのは「有」の方である。TN、*yaŋ2* “to have, to own” (Luo (1999: 242))。
- (6) *mok rǎ*: 漢文面「冠」。「雑字」衣服門554「紗帽」に *mok rǎ thang mǎu* として見える。泉井(1949: 239)は *mok rǎ* を「《頭をおほふもの》」、*thang mǎu* を「支那語《唐帽》より」と語釈している。
- (7) *sai rang*: 漢文面「帯」。「雑字」衣服門556「金帯」に *sai rang kham* として見える。泉井(1949: 239)は *sai rang* を「《帯》」、*kham* を「《金》」と語釈している。
- (8) *hau*: 漢文面「着」。雑字に立項されず、ただ後附50項の678「奏」*hau lau* の第一要素として見える。泉井氏は東洋文庫本来文第一通に現れたこの語に「しむ」(引用者按: 使役)という逐語訳をつけている(泉井(1949: 247))。また TN、*hai 4* “to give, to offer; to allow, to permit, to let” (Luo (1999: 23))。
- (9) *khǒng ngǒn khǒng kham*: 漢文面「金銀器皿」。*ngǒn* は「銀」(599)、*kham* は「金」(598)としてそれぞれ「雑字」に見える。*khǒng* は雑字や来文の他の個所に見えない。按ずるに、TN、*xəŋ6* “thing, object, equipment, apparatus” (Luo (1999: 237))。
- (10) *ku cǎng*: 漢文面「等件」。雑字には出現しない。東洋文庫本来文に見え、泉井(1949: 271)は「各 - 種類」と逐語訳を施した上でその全体を「等, 各種」の意だとして、*cǎng* に対しては「シャン語 *sung* 《sort, kind》」と注釈している。按、TN、*ku6*, “each” (Luo(1999: 53))。またタイ・ルー語(西双版纳傣語) *tsəŋ6* “种, 样”(喻・羅(2004: 135))。
- (11) *sǎñ khǔat sǎng kong*: 「前去進貢」を百夷文字で音写したこの部分は、第8~9行にすでに出ているので重出となる。但し、第8行の“去”に対する百夷文字 *sǎng* は誤りで、本行で *khǔat* に作るのが正しい。
- (12) *pañ pañ*: 同じ音節綴りが二度繰り返されているが、漢文面を参照すれば誤って重出したものであることがわかる。

#### 第十通(第18-19葉)

孟養長官司長官刀罕門奏

天皇帝知道我奴婢地方遠在天盡

去處年例辦納差發並無違悞

我奴婢地方有通事李成年老

往來不得有他男李敬通曉夷

語望

天皇帝可憐見着李敬替他父的通

事引領我奴婢去進貢拜見

天皇帝處便益

- 1) mōng yang cang kuan sōw cang kuan tau kham mon le hau lau  
孟 養 長 官 司 長 官 刀 罕 門 《而》 奏
- 2) phaa wāng tīe ru né | cow thañ hang tii cii taw le kaw khraa wōng<sup>(1)</sup> man koai yu<sup>(2)</sup> sot phaa tii  
天 皇帝 知道 《矣》 奏 天 皇 帝 知 道 《而》 我 奴 婢 地 方 遠 在 尽 天 去 処
- 3) cam<sup>(3)</sup> | 'ã no poy tii phang wañ cai thañ sǎng khūat chu le tang pii<sup>(4)</sup> rǎñ sǎe ngōn  
《近い》 我 奴 婢 地 方 遠 在 天 尽 去 處 《而》 例 年 辦 納 差
- 4) kōn sii maw kōt maw rang | sañ<sup>(5)</sup> lik pan nap chai phak ping wok woy wok  
發 並 無 違 無 悞 年 例 辦 納 差 發 並 無 違 悞
- 5) le kaw khraa mōng man ñang tii lam li ching | 'ã no poy tii phang yǎw thong chii  
《而》 我 奴 婢 地 方 有 通 事 李 成 我 奴 婢 地 方 有 通 事
- 6) li ching le pii thau<sup>(6)</sup> pa<sup>(7)</sup> maw nai<sup>(8)</sup> | nañ loau wang lai pok tōk le ñang man<sup>(9)</sup> lok  
李 成 《而》 年 老 往 來 不 得 年 老 往 來 不 得 《而》 有 他 男
- 7) cai li king ru rǎat khūam tai | yǎw thaa nan li king thong haw yii wii le wan  
李 敬 通 曉 言 葉 タイ 有 他 男 李 敬 通 曉 夷 語 《而》 望
- 8) phaa wāng tīe khiǎn it no | wang thañ hang tii khǎ lañ kañ le hau li king cūai<sup>(10)</sup> man  
天 皇 帝 可 憐 見 望 天 皇 帝 可 憐 見 《而》 着 李 敬 替 他
- 9) pǎ tii lam | cūak li king thii thaa phuu tii thong chii le 'uan kaw khraa pai sǎng  
父 通 事 着 李 敬 替 他 父 的 通 事 《而》 引 領 我 奴 婢 去 進
- 10) kong | ying ling 'ã no poy khūat sǎng kong le pai kǎñ<sup>(11)</sup>  
貢 引 領 我 奴 婢 去 進 貢 《而》 拜 見
- 11) phaa wāng tīe tii né | pai kañ thañ hang tii cu pañ yii  
天 皇 帝 処 《矣》 拜 見 天 皇 帝 処 便 益

(1) wōng : 原文かくの如し。mōng の誤り。

(2) yu : 漢文面「在」。「雑字」には立項されないが人事門255「清間」yu nai、宮室門446「宮殿」rōn yu wāng tīeなどに現れる。泉井(1949)は、前者yu naiについて《の中にあり》、《に於いて居る、住む》の直訳を与えyuを「在る」「居る」「住む」の意味に取り(227頁)、後者rōn yu wāng tīeについては《皇帝の住房》と訳しyuを「住む」と解す(234頁)。またTN、yu3 “to be in a place, to remain, to live” (Luo (1999: 250))。

(3) sot phaa tii cam : 漢文面「天尽去処」。東洋文庫本来文にもこの文言があり、泉井(1949: 252)は《天の尽くるところに近く》、《天涯に》と訳す。sotについては「シャン語 sot, シヤム語 sut3 《終末, 終, 終端》」と注記している(泉井(1949: 同頁))。tiiには「所」、camには「近き」という逐語訳をそれぞれ与えている(泉井(1949: 249))。TN、sut1 “to end, to finish” (Luo (1999: 160)); ti6 “place, ground, site, location” (ibid., p.173); tsam6 “1. mirror, glass; 2. near, close; 3. since, from (the time of)” (ibid., p.197)。なお phaa は「天」(雑字1)。従ってこの語句は「尽-天-去処-(近)」、即ち「[天が終わる][近いところ]」のような訳がなされていることになる。

(4) tang pii : 漢文面「年例」。但し百夷語文面の語順は漢文と逆である。この語句は東洋文庫本来文第十四通に見え、泉井(1949)は「すべての-年」という逐語訳を与え「連年、例年」と解している(この来文での対応の漢文面は「連年」)ほか(274頁)、東洋文庫本第十通に見える「衆」: tang-lai に対して「tang 《すべて》, シャン語 tang' 《all, whole, tang'-lai 《(同義)》。》」(括

弧の不整合は原文のまま一引用者)との注釈を与えている(267頁)。TN、taŋ2 “1. and, together with; 2. all, the whole, the lot, entirely” (Luo (1999: 167))。なお、タイ諸語にはこれとは別にシャム語 ta:n5 “各个”に代表される語根があり、本項での意味からはより適合する。pii は「年」(雑字93「歳」、95「年」)。

- (5) sañ : 対応の漢文面が「年」なので nañ が期待され (cf: 本篇第六行等)、現に内閣文庫本は同じ個所を nañ としている。誤記と見ておく。
- (6) thau : 漢文面「老」。雑字続編189に「長者」phu thau が見える。phu は TN では pu1 “noun or pronoun prefix indicating people of certain profession or status” (Luo (1999: 126)) とあるのにあたり、pu1 thau4 “seniour person, elderly person, honorific address term for use with senior people” という複合語も見える (ibid.)。thau は TN、thau4 “old, elders, seniors” (Luo (1999: 187)) に当たる。
- (7) pa' : 漢文面「往来」。雑字続編180に「往来」pai ma' があり、あるいはこの語を誤記したものか。
- (8) nai : 漢文面「得」。第五通の注(14)を参照。
- (9) man : 漢文面「他」。雑字には立項されていないが東洋文庫本に見え、泉井(1949: 256)では「彼、(他)」と逐語訳している。TN、man2 “he, she, it” (Luo (1999: 89)) に当たる。
- (10) cūai : 漢文面「替」。雑字に見えず。TN、tsai6 “to help” (Luo (1999: 207)) に当たる。
- (11) pai kĩañ : 漢文面「拜見」。雑字に見えず。漢語からの借用語。

### 第十三通 (第24-25葉)

孟楞長官司長官思答羨奏

天皇帝知道普天下地方都是

天皇帝管理如今我【奴…原文はこの一字を欠く】婢地方因有銀

鑛各處人民背離本土來我奴

婢地方住挖銀鑛打攬地方人

民不絶又偷盜物件因這等奏

天皇帝處可憐見替我奴婢處置禁

約他便益

- 1) mōng rōn cang kŭan sōw cang kŭan sōw taa sĩañ le hau lau  
孟 楞 長 官 司 長 官 思 答 羨 《而》 奏
- 2) phaa wāng tĕ ru né | cow thañ hang tii cii taw le tŭau phaa nōw nin kǎ lak mōng  
天 皇 帝 知 道 《矣》 奏 天 皇 帝 知 道 《而》 下 天 上 地 普 地
- 3) phaa wāng tĕ sĭang yau | phuu thañ haa tii phang tu chii thañ hang tii kŭan li le tǎ  
天 皇 帝 管 理 普 天 下 地 方 都 是 天 皇 帝 管 理 《而》 如 今
- 4) nai<sup>(1)</sup> kaw khraa mōng man | yokkin 'ǎ no poy tii phang le pōw<sup>(2)</sup> ñang mǎ  
我 奴 婢 地 方 如 今 我 奴 婢 地 方 《而》 因 有 銀
- 5) ngōn<sup>(3)</sup> | ying yĭaw yin kōm le ku tii phu kon tai lik phak phre kan<sup>(4)</sup> pōn  
銀 因 有 銀 鑛 《而》 各 處 人 民 背 離 《互いに》 本
- 6) mōng pōn man<sup>(5)</sup> | kŭak chu yin min poy lii pon thu le ma<sup>(6)</sup> kaw khraa mōng  
土 本 地 各 處 人 民 背 離 本 土 《而》 來 我 奴 婢 地 方
- 7) man yu ñang khok<sup>(7)</sup> mǎ ngōn | lai 'ǎ no poy tii phang cu wat yin kōm le  
住 挖 銀 鑛 來 我 奴 婢 地 方 住 挖 銀 鑛 《而》

- 8) map caa mǒng man phu kon tai lik maw yau<sup>(8)</sup> | taa kau tii phang yin min  
打攪地方人民不絶 打攪地方人民
- 9) pok sac le pǔai<sup>(9)</sup> lak<sup>(10)</sup> khǔan ling<sup>(11)</sup> ko cǔang<sup>(12)</sup> | yǎw thow taw wok kǎñ | pǒw  
不絶《而》又 偷盜物 件 又 偷盜物件 因
- 10) nang nai<sup>(13)</sup> hau lau  
等 這 奏
- 11) phaa wǎng tǐe tii khǎñ it no | ying cii tǒng cow thañ hang tii chu khǎ lañ kǎñ  
天 皇 帝 处 可 憐 見 因 這 等 奏 天 皇 帝 处 可 憐 見
- 12) le cǔai kaw khraa tin phrǔan<sup>(14)</sup> kam wai<sup>(15)</sup> man né | thii 'ǎ no poy chu cii kin yǔak  
《而》替 我 奴婢 处 置 禁 約 他 《矣》替 我 奴婢 处 置 禁 約
- 13) thaa pañ yii  
他 便 益

- (1) tǎ nai : 漢文面「如今」。第九通の注釈(4)を参照。
- (2) pǒw : 漢文面「因」。泉井(1949: 252)は、東洋文庫本来文に現れた pǒw nai「因此」に「因りて-此に」と逐語訳を加えている。按ずるに TN、pə6 lai1 “因此, 所以”(周・方・郝(2005: 71)<sup>13)</sup>は pǒw nai と対応するかもしれない。なお第九通の注(4)に述べたように、pǒw nai は雑字後附50項の722「為因」に立項されている。
- (3) mǎ ngǒn : 漢文面「銀鉞」。ngǒn は「銀」(雑字599)。mǎ は雑字40「井」nam mǎ の第二要素に見える。TN、mo3 “1. mine; 2. spring, well”(Luo (1999: 95))。
- (4) phak phre kan : 漢文面「背離」。phak は雑字260「別」phak と同じ語であろう。TN、phaak5 “to separate, to part, to depart”(Luo (1999: 130))。kan は動詞の後ろについて「互いに」の意を表し、雑字では249「商量」pǔang kan はじめいくつかの項に見られる。TN、kan6 “each other, one another”(Luo (1999: 41))。phre は TN、phel “to spread out” もしくは phe3 “1. to spread out, to flatten out; 2. to spill over, to overflow”(いずれも Luo (1999: 133))に対応する語か。なお phre については第十七通の注(13)も参照。
- (5) pǒn mǒng pǒn man : 漢文面「本土」。mǒng man は「土地」の意で『百夷館来文』に頻出する(第五通注釈(6)及び文末索引 A 参照)。百夷語の同じ語句は東洋文庫本第十二通では漢文の「別地方」の対訳となっており、泉井氏は pǒn に「他の」という逐語訳をつけ、語句全体は「他の地方に」と訳している(泉井(1949: 271))。按ずるに TN、pən6 “others, other people”(Luo (1999: 128))。なお本例のように二音節語 AB に単音節語 C を重畳して組み合わせる CACB 型もしくは ACBC 型四字格は百夷館来文にしばしば見られ、泉井(1949: 257)も東洋文庫本第四通に出現する khon ñau lang ñau 《大官大家》(漢文面は単に「大官」)を取り上げて「かくのごとく形容詞、名詞等を重ねて【中略—引用者】間隔的反復法による強調的な表現は、また百夷語においてもその高尚な(改った)文体には一般的な現象であった。この現象は来文各篇にもおほい」と述べて特に注意を与えている。一般に華夷訳語の来文が漢文面の奴隸的直訳に終始する中で、

<sup>13)</sup> 周・方・郝(2005)からの引用に当たり、原文の徳宏タイ文字は該書が採用するローマ字(音韻論の原則よりも漢語拼音方案に近づけることに重点を置いた綴字法で引用に不便)ではなく、Luo(1999)の方式に変換した。周・方・郝(2005)とLuo(1999)は、凡例に記した通り、調号も異なる部分があり、Luo(1999)の第1声が周・方・郝(2005)では第6声となり、Luo(1999)の第6声は周・方・郝(2005)では第1声となっている。調号についてもLuo(1999)に合わせて変更した。

百夷館来文が漢文の字面から離れてこうした修辞を盛んに用いているのは注目に値する。

- (6) ma' : 漢文面「来」。この語は雑字においては22「風来」lom ma', 278「将来」'au ma', 705「差来」cau ma', 続編101「来年」ma' pii, 続編180「往来」pai ma'などに現れるが、「来」単独では項目が立てられていない。TN、maa2 “to come” (Luo (1999: 83))。
- (7) khok : 漢文面「挖」。雑字に見えない。TN、xok1 “to engrave, to dig out with a finger or something pointed”、また xok3も同義 (以上、Luo (1999: 233))。
- (8) yau : 漢文面「絶」。第五通の注(7)に引いた泉井氏の語釈を取って「留まる」と解するのが適当であるようであるが、泉井氏は一方で東洋文庫本第二通に出てくる maw yau「不絶」に注を加えて「この yau は完了形を構成する yau (= シャム語 leu) とは別語であつて、シャン語 yū~《to stay》に対応する語」(泉井 (1949: 253)) と述べている。按ずるに、泉井氏の言う「シャン語 yū~《to stay》に対応する語」は第十通注(2)に取り上げた yu、TN の yu3であつて、本項の yau とは発音が合わない。ここでは、泉井氏が否定している「完了形を構成する yau」と同根語と思われる TN、yau5 “to finish” (Luo (1999: 243)) を比定しておきたい。
- (9) pūai : 漢文面「又」。この語は雑字に見えず、東洋文庫本来文では第八通に初出する。泉井 (1949: 264) では「また」と逐語訳しているが、シャン語などのタイ諸語の証拠は挙げていない。TN、poi5 “1. this time; 2. from now on; 3. then” (Luo (1999: 124)) に当たる可能性があるが、Luo 氏 (ibid.) によればこの語は pək5 lai5の合音詞であるとのことである。
- (10) lak : 漢文面「偷盗」。雑字に見えず。泉井氏は東洋文庫本来文第六通に出現するこの語に「盗み」と逐語訳をつけている (泉井 (1949: 259))。TN、lak5 “to steal” (Luo (1999: 63))。
- (11) khūan ling : 漢文面「物」。この語句は「財物」の訳語として東洋文庫本来文第七通に現れる。泉井 (1949: 262) は「khūan ling は併せて《財物》といふほどの意。而して khūan は概して大財を指し ling は小財 (家畜, 食糧等) を指す。アーホム語にも同様の表現形式あり。」と注記している。
- (12) ko cūang : 第九通注(10) ku cūang に同じ。ko は ku の母音符号の右下にあるべき点が抜け落ちたもの。
- (13) pōw nang nai : 漢文面「因這等」。pōw は「因」(本篇注2)。nang は雑字715「照旧」 nang kau の第一要素に見える語 (第五通注(8)参照)。この語句は東洋文庫本来文では第十三通に見え、泉井 (1949: 273) は注釈を施して「nang はシャム語 dang~《如し, 似る, 宛も》に当る, [中略]。pow[ママ]-nang-nai, 直訳《かくの如きによつて》。」と述べている。
- (14) tin phrūan : 漢文面「処置」。雑字の後附50項の713に立項されている。
- (15) kam wai : 漢文面「禁約」。kam は TN、kam6 “1. a bunch (of flowers, vegetables, or suchlike); 2. to hold, to hold in a closed hand, to grasp; 3. to fast (for religion); 4. to avoid, to shun, to abstain from” (Luo (1999: 40)) に当たる。wai は、「雑字」後附50項の704及びベルリン本第五通第九行に見える「収了」 nap wai の wai に同じと見られる。泉井 (1949: 250) は東洋文庫本来文第一通に現れた nap wai に対する注の中で、wai の原義を《置く, 保持する, 保有する, 維持する, ——受け取る》とし、更に「wai は他の動詞に附加せられてその行為または状態の保持または取得をあらはす」「wai は一種の完成, 完了的な意味合ひをもその附加せられたる動詞に賦与するもの」とも述べている。TN にはこれと関連しうる動詞 (または動詞附加成分) が二つあり、一つは wai5 “1. to put or leave aside, to keep (for), to store; 2. progressive marker” (Luo (1999: 215)) であり、もう一つは wai2 “to finish” (ibid., p.213) であつて、二つは発音が異なる。前者は「置く」の意味

で保持や持続を表すことにつながり、後者は「終わる」の意味であるから完成・完了と関連する。

### 第十五通（第28-29葉）

孟定府土官知府刀孟扛奏

天皇帝知道先因本府失落了印信

累次差人奏討新印未蒙准給

切思我奴婢是遠方土官無有

印信人民不肯信服因此我奴

婢備得象二隻差頭目板官罕

去進貢望

天皇帝可憐見乞

勅禮部鑄一顆新印給與我奴婢

便益

- 1) mǒng tin phuu khon-mǒng cii phuu tau mǒng kang le hau lau  
孟 定 府 土 官 知 府 刀 孟 扛 《而》 奏
- 2) phaa wǎng tǐe ru né | cow thañ hang tii cii taw le mǒw 'ūan pǒw pon phuu<sup>(1)</sup> ram<sup>(2)</sup> com  
天 皇 帝 知 道 《矣》 奏 天 皇 帝 知 道 《而》 比 先 因 本 府 失 落 印
- 3) kaa | sañ ying pon phuu chik lūak raw yin sian le lai lai<sup>(3)</sup> cau kon lau [yūang]<sup>(4)</sup>  
信 先 因 本 府 失 落 了 印 信 《而》 累 次 差 人 奏 討
- 4) com mǔau<sup>(5)</sup> yang pūai<sup>(6)</sup> com khūam<sup>(7)</sup> poong hau | yōy sii chai yin cow thaw sian yin woy  
印 新 未 蒙 准 給 累 次 差 人 奏 討 新 印 未
- 5) moong com kii le krau cau kaw khraa chok<sup>(8)</sup> mǒng koai<sup>(9)</sup> khon mǒng yang mii<sup>(10)</sup> com kaa phu  
蒙 准 給 《而》 切 思 我 奴 婢 是 方 遠 土 官 無 有 印 信 人
- 6) kon tai lik maw su<sup>(11)</sup> cu khūam<sup>(12)</sup> | sac sǒw 'ǎ no poy chii wañ phang thu kūan  
民 不 肯 信 服 切 思 我 奴 婢 是 遠 方 土 官
- 7) wok yǎw yin sian yin min pok khǒng sian phuu le pǒw nai kaw khraa rǎañ  
無 有 印 信 人 民 不 肯 信 服 《而》 因 此 我 奴 婢 備
- 8) nai cang [2] tu cau thau mǒng<sup>(13)</sup> pan kūan kham pai sǎng kong | ying chii 'ǎ no poy poy  
得 象 二 隻 差 頭 目 板 官 罕 去 進 貢 因 此 我 奴 婢 備
- 9) tǒk sang 'ǒw cii chai thow mu pan kūan kham khūat sǎng kong le wan  
得 象 二 隻 差 頭 目 板 官 罕 去 進 貢 《而》 望
- 10) phaa wǎng tǐe khǎañ it no | wang thañ hang tii khǎ lañ kañ le khǎañ<sup>(14)</sup> lau<sup>(15)</sup>  
天 皇 帝 可 憐 見 望 天 皇 帝 可 憐 見 《而》 乞 勅
- 11) li pu<sup>(16)</sup> | khii chii li pu le lǎ lac<sup>(17)</sup> lok [1] com mǔau<sup>(18)</sup> poong hau tii<sup>(19)</sup> kaw khraa né |  
禮 部 乞 勅 禮 部 《而》 鑄 顆 一 印 新 給 與 我 奴 婢 《矣》
- 12) cu yii khǎ sian yin kii<sup>(20)</sup> 'ǎ no poy pañ yii  
鑄 一 顆 新 印 給 我 奴 婢 便 益

(1) pon phuu : 漢文面「本府」。漢語からの借用語。

(2) ram : 漢文面「失落（了）」。雜字には見えず。TN、haam2 “2.to be lacking; not to be” (Luo (1999:

- 18)) に当たる。
- (3) lai lai : 漢文面「累次」。雑字に見えず。東洋文庫本来文第十三通に見え、泉井 (1949: 272) は「常に」と逐語訳している。タイ・ルー語 lai2 lai2 “纷纷 [引用者訳: 次から次へ]” (諭・羅 (2004: 309)) に当たる語か。なおこの語は、タイ・ルー語 lai1 「多い」とは別語根である。
- (4) lau yǔang : 漢文面「奏討」。雑字の後附50項の686に見える。なおベルリン本のこの語の第二音節の綴りは誤記されていて解説不能であるため、雑字に基づいて [yǔang] を補っておく。
- (5) com mǔau : 漢文面「新印」。第一要素は「印信」(cf. 本篇第2-3行 com kaa ; 「雑字」685) の第一要素と同じで、第二要素は「新」の意 (cf. 雑字650)。従って「印-新」という語順を取っている。この語順は (この箇所に限らないが) タイ諸語一般と一致し、百夷館来文の翻訳が百夷語の文法を踏まえてなされている一つの例である。
- (6) yang pǔai : 漢文面「未」。yang は東洋文庫本第六通に見え、漢文面「無」に当たる。泉井 (1949: 259) は yang に「不」という訳を当てている。TN、yan6 “not, not yet” (Luo (1999: 242))。pǔai は不詳だが、第十三通第九行に同綴が見え、漢文の「又」と対応している (第十三通の注 (9) 参照)。
- (7) com khǔam : 漢文面「蒙准」。第一要素は「印」。第二要素は雑字229「説話」、230「答応」、250「事務」、262「有事」、375「楽人」、727「夷人」などの構成要素として出現し“事”“言葉”などの意味がある。TN、xaam2 “language, word, sentence” (Luo (1999: 221))。よって com khǔam を訳せば「言葉の印」「事務の印」などとなる。ただし、この語全体が、東洋文庫本来文の数か所に見える「法度」cǔang-khǔam<sup>14</sup>の書き誤りかもしれない。
- (8) chok : 不詳。漢文面は「是」であるから、何らかのコンピュータ動詞であると思われる。
- (9) mǒng koai : 漢文面「遠方」。mǒng は「方」(cf. 第五通注(6))、koai は「遠」(雑字660) であるから、「方-遠」、即ちタイ諸語の「被修飾語-修飾語」の語順に従っている。
- (10) yang mii : 漢文面「無有」。yang は本篇注(6)を参照。mii は「有」で、雑字262「有事」mii khǔam に見える。
- (11) maw su : 漢文面「不肯」。maw は否定辞 (cf. 第五通注(13))。su は、TN、su4 “1. must, should; [...] 3. to like; to be fond of [...]” (Luo (1999: 159)) に当たる。東洋文庫本来文第七通には cau su「喜歡」が現れ、泉井 (1949: 261) はこれを「心-歡ぶ」と逐語訳している。
- (12) cu khǔam : 漢文面「信服」。cu は、TN、tsu2 “[...] 2. to be willing to, to agree (to)” (Luo (1999: 209))、及びタイ・ルー語 tsu2 “同意; 附和, 将就 [引用者訳: 同意する; 追隨する、適当に合わせる]” (諭・羅 (2004: 131)) が音声的には合うが意味的にはやや距離がある。khǔam は“事”“言葉”を意味する語 (cf. 本篇注(7)) であろう。
- (13) thau mǒng : 漢文面「頭目」。雑字389に立項されている。漢語借用語のようにも見えるが、thau は「老」(cf. 第十通注(6))、mǒng は「地方」(cf. 第五通注(6)) の意であるから、「地方の長老」という立派な固有語として理解できる。
- (14) khǐaǎn : 漢文面「乞」、第五通注(21)を参照。
- (15) lau : 漢文面「勅」。雑字678「奏」 hau lau の第二要素と同一語と見られる。TN、lau6 “to speak humbly to, to report to or to address superiors, to beg” (Luo (1999: 67))。
- (16) li pu : 漢文面「礼部」。漢語からの借用語。
- (17) lâ lac : 漢文面「鑄」。雑字統編282「鑄」に立項されているが百夷語は単に lâ とする。TN、lo3

<sup>14</sup> 泉井 (1949: 256) に「法-慣習」と逐語訳する。また同書257頁、註10を参照。

“to pour, to tip or dump (large amount of things) into, to cast or mould (metal)” (Luo (1999: 73))。lac は不詳。

- (18) lok [1] com mǎu : 漢文面「一顆新印」。lok は TN、luk5 “1.children, offspring; 2. classifier for children and small objects” (Luo (1999: 79)) に当たる。具体的な量詞用法については、周・方・郝 (2005:448) の “luk5” の項の第四の義項に “块, 个, 颗 (量词, 用于石头、砖块、电池、弹丸等)” とある。com mǎu については本篇注(5)参照。TN などの傣語諸方言の数量表現の語順は第五通の注(17)に述べたように [名詞] + [数詞] + [量詞] であるが、数詞が一の場合のみ、[名詞] + [量詞] + [数詞 “一”] となる<sup>15</sup>。本例では [量詞] + [数詞 “一”] の後ろに名詞が来ている点は現代傣語と一致しないが、量詞と数詞の順序が顛倒する点は共通しており、百夷語の文法の現実を反映していると考えられる。
- (19) tii : 漢文面「与」。東洋文庫本には都合7回現れ、泉井 (1949) では「与ふ」と動詞に逐語訳している場合と、「に」と介詞的に逐語訳している場合とがある。TN、(Luo (1999)、周・方・郝 (2005)) には介詞の用法が見出されるのみである : ti1 “[...] 4. towards, to” (Luo (1999: 173))。
- (20) kii の後ろに、漢文面「与」に当たる漢語音表記があるはずであるが、抜けている。

#### 第十六通 (第30-31葉)

孟養安撫司差来頭目刀扛奏

天皇帝知道我奴婢来進貢路途上

不肯應付人夫因此留難今奴

婢每回去乞

差官伴送我每早回去便益

- 1) mǒng yang ngan phuu<sup>(1)</sup> sǒw cau ma' thau mǒng tau kang le hau lau  
孟 養 安 撫 司 差 来 頭 目 刀 扛 《而》 奏
- 2) phaa wǎng tǐe ru ne | cow thañ hang tii cii taw le kaw khraa ma' sǎng kong | 'ǎ no poy  
天 皇 帝 知 道 《矣》 奏 天 皇 帝 知 道 《而》 我 奴 婢 来 進 貢 我 奴 婢
- 3) lai sǎng kong le khon tang<sup>(2)</sup> kam nõw maw su lǎ ling<sup>(3)</sup> lok taa lok pǎ<sup>(4)</sup> | lok  
来 進 貢 《而》 路 途 上 不 肯 應 付 人 夫 路
- 4) thu chang pok khǒng ying phuu yin phuu le pǒw nai wai tang<sup>(5)</sup> | ying chii lǎw nan le  
途 上 不 肯 應 付 人 夫 《而》 因 此 留 難 因 此 留 難 《而》
- 5) pǒw nai tu khraa<sup>(6)</sup> pvak mǒw | kin no poy moy hǎy khǔat le khǎañ  
今 每 奴 婢 回 去 今 奴 婢 每 回 去 《而》 乞
- 6) cau khon pan song to cau pai pvak mǒw ne.. | khii chai kǎn pan song 'ǎ moy caw  
差 官 伴 送 我 每 早 去 回 《矣》 乞 差 官 伴 送 我 每 早
- 7) hoy khǔat pañ yii..  
回 去 便 益

(1) ngan phuu : 漢文面「安撫」。漢語からの借用語。この語は雜字に立項されている (387) が、雜字の百夷文字は 'an phuu となっており、本例と一致しない。'an~ngan は “安” の字音の漢語

<sup>15</sup> 注11に同じ。

内部での異なる variant の反映であり、誤記の結果ではないと考えられる。

- (2) khon tang : 漢文面「路途」。khon も tang も「道」の意味。tang は雑字39「路」に見える。また TN, xon1 “way, road, path” (Luo (1999: 231)); taan2 “way, road, path” (ibid., p.164); xon1 taan2 “road, way, path” (ibid., p.231)。東洋文庫本来文第三通では漢文面「沿途」に対応し、泉井 (1949: 254) は「沿ひて-道途」と逐語訳しているがタイ系言語からの挙証はなく多分に漢文面に基づいたものであろう。
- (3) lâ ling : 漢文面「応付」。雑字後附50項の707に立項されている。TN, lo3 “should, to need (sth.), need to, must, to be necessary” (Luo (1999: 74)); leŋ5 “1. to raise (children), to raise (cattle), to feed, to look after” (ibid., p.68)。同一語は東洋文庫本来文第三通にも見え、文脈も本篇に似て khon tang に続く語句である。泉井氏は lâ をシャン語を参照し「応急に」と解し、ling についてもシャン語に基づき「生む, 養ふ, 飼ふ, 給食する」と解している (泉井 (1949: 254))。按ずるに、「必要として給食する」の意味であろう。東洋文庫本第三通では目的語が「草料」(khau khra') であり、「道中草料が不足して貢物の象四頭のうちの二頭を損なった」旨を述べている (“不想沿途応付草料不敷以至瘦損倒了二隻”) が、本来文では「道中人夫に十分に給金を支払わなかったので置きざりにされた」旨を述べている。
- (4) lok taa lok pã : 漢文面「人夫」。CACB 型四字格になっている (第十三通の注(5)参照)。その C=lok は TN, luk5 “1.children, offspring [...]” (Luo (1999: 79)) と思われる。AB=taa pã については不詳だが、TN, taa6 pe2 “disciple” (Luo (1999: 163)) が意味的には「人夫」に近い。百夷文字の ã (𑄎𑄓𑄔) と ie (𑄎𑄓) とは字形が似ており、誤記 (pã が期待されるところを pã と書いた) の可能性も考えられるが、いま存疑としておく。
- (5) wai tang : 漢文面「留難」。wai は「置く」(第十三通注(15)参照)、tang は「道」(本篇注(2)参照)で、「道に置き去りにする (される)」を意味すると解しておく。
- (6) tu (khraa) : 漢文面「(奴婢) 毎」。tu は東洋文庫本来文では「我毎」の対訳になっていることもある。tu6 “we (exc.)” (Luo (1999: 180))。「私ども奴婢」の意。次行の to 「我毎」も tu と同一語で、百夷文字の母音符号 u の下にあるべき点が欠けているので to と転写している。

### 第十七通 (第32-33葉)

南甸宣撫司宣撫刀怕便告稟  
布政司大人知道比先蒙差謝  
知事來我奴婢地方上催取差  
發就收拾銀二十錠交納  
衆大人處了有干崖宣撫占了  
我每辦納差發的地方一處至  
今尚未退還望  
衆大人轉替我奴婢具奏  
朝廷分豁與我奴婢管業便益

- 1) mōng tii sǎñ phuu sōw sǎñ phuu tau phaa pǎñ le hau lau  
南甸宣撫司宣撫刀怕便《而》告稟
- 2) pu cing sōw<sup>(1)</sup> phu ñau ru ne | kau ping pu cing sōw taa yin cii taw le mōw 'ñan  
布政司大人知道《矣》告稟布政司大人知道《而》比先

- 3) ñang cau sĕ cii chii<sup>(2)</sup> | pii sañ poong chai sĕ cii chii le ma' kaw khraa mǒng man kam  
 蒙 差 謝 知 事 [比 先 蒙 差 謝 知 事] 《而》 来 我 奴 婢 地 方 上
- 4) nǒw | lai 'ǎ no poy tii phang chang le nac sĕ ngǒn kǒn | soy sii chai phak  
 [来 我 奴 婢 地 方 上] 《而》 催 取 差 發 [催 取 差 發]
- 5) le no<sup>(3)</sup> mre wai ngǒn [1]<sup>(4)</sup> [10] cūai<sup>(5)</sup> | sow chaw chii yin 'ǒw chii ting le nap hau<sup>(6)</sup>  
 《而》 就 収 拾 銀 二 十 錠 [就 収 拾 銀 二 十 錠] 《而》 交 納
- 6) tang lai phu ñau tii yau<sup>(7)</sup> | kau nap cong taa yin chu raw le ñang mǒng naa sĕa  
 衆 大 人 処 了 [交 納 衆 大 人 処 了] 《而》 有 干 崖 宣
- 7) phuu cing kin<sup>(8)</sup> kaw tu rĭa sĕ ngǒn kǒn mǒng man [1] tii yĭaw kan yay sĕa  
 撫 占 了 我 每 辦 納 差 發 地 方 一 処 [有 干 崖 宣]
- 8) phuu can raw 'ǎ moy pan nap chai phak tii tii phang yii chu le thǒng<sup>(9)</sup> mǒw nai  
 [撫 占 了 我 每 辦 納 差 發 的 地 方 一 処] 《而》 至 今
- 9) yang pūai thūak khǒn | cii kin chang woy thoy hūam le wan  
 尚 未 退 還 [至 今 尚 未 退 還] 《而》 望
- 10) tang lai phu ñau pūai cūai<sup>(10)</sup> kaw khraa khǒn lau<sup>(11)</sup>  
 衆 大 人 轉 替 我 奴 婢 具 奏
- 11) chaw thin<sup>(12)</sup> phre tac<sup>(13)</sup> tii kaw khraa rĭac thin ne | wang cong taa yin cūay thii 'ǎ no  
 朝 廷 分 豁 与 我 奴 婢 管 業 《矣》 [望 衆 大 人 轉 替 我 奴]
- 12) poy koy cow chaw thin phing khǎ wii 'ǎ no poy kūan yac pañ yii.  
 [婢 具 奏 朝 廷 分 豁 与 我 奴 婢 管 業 便 益]

- (1) pu cing sǒw : 漢文面「布政司」。漢語からの借用語。
- (2) cii chii : 漢文面「知事」。漢語からの借用語。
- (3) no : 漢文面「就」。この語は東洋文庫本来文第七通では「着」の対訳として見え（ベルリン本と内閣文庫本は対応する来文の同じ個所の漢文面を「就」に作る）、泉井（1949: 261）は逐語訳を「着る」としているが他のタイ諸語で挙証しておらず、漢文面をそのまま逐語訳の根拠としたようである。今、閲しえず。
- (4) [1] : 対応する漢文は「二」だが、書かれている百夷数字は“1”である。誤記ならむ。
- (5) cūai : 漢文面「錠」。TN、tsi5 “1. a weight unit (1.5 kilograms); 2. a Burmese monetary unit; 3. a kind of steelyard, balance, scale.” (Luo (1999: 207))。
- (6) nap hau : 漢文面「交納」。nap は nap wai 「収了」（雑字704。第十三通の注(15)参照）に見える動詞語根で、泉井（1949: 250）はその義を《算へる》としている。hau は「与える」「…させる」の意（第九通の注(8)参照）。全体は「数えて、与える」の意か。
- (7) yau : 漢文面「了」。第十三通の注(8)において触れたように、この語には“to finish”の意味があり（Luo (1999)）、また完了形を構成する機能がある（泉井（1949））。東洋文庫本来文には、漢文面の完了態虚詞「了」を yau に訳した例が7例見える。本稿で扱っているベルリン本特有部分の来文では、「了」: yau の対応は本例にしか見えない。第十八通の第六、第七行に見える yau は対応する語句が漢文面に見当たらないが、用法的には漢語の「了」に相当している。
- (8) cing kin : 漢文面「占了」。cing は東洋文庫本来文第十通に現れ、泉井氏はシャン語を参照して《占む、奪ふ》という注釈を与えている（泉井（1949: 267））。TN、tsiq2 “to invade, to occupy, to

seize” (Luo (1999: 204)). kin は雑字536「喫飯」kin khauに見え、つまり「食べる」の意。TN、kin6 “to eat, to drink, to smoke (cigarette), to take (medicine)” (Luo (1999: 46))。東洋文庫本来文第十三通では cing kin は「侵占」の対訳となっており、泉井氏は「侵奪する」という訳を与えている (泉井 (1949: 272))。

- (9) thōng : 漢文面「至」。TN、thiŋ1 “to arrive, to reach” (Luo (1999: 193))。
- (10) pūai cūai : 漢文面「転替」。pūai は「又」(第十三通注(9)参照)、cūai は「替」(第十通注(10)参照)。
- (11) khōn lau : 漢文面「具奏」。この語は雑字後附50項の679では「題」の対訳として現れ、その前項678「奏」hau lau と対を成す。khōn は「戻る」(TN、xin2 “to return, to come back; 2.to pay back, to return [...] (Luo (1999: 236)))、lau は「勅」(第十五通注(15)参照)。
- (12) chaw thin : 漢文面「朝廷」。漢語からの借用語。
- (13) phre tac : 漢文面「分豁」。phre は TN、phe2 “to allocate, to distribute” (Luo (1999: 133)) に当たるか。tac は雑字495「尺」mai tac に見え、泉井 (1949: 236) は「長さを測る (tac) ための木 (mai)」と説明している。TN、tek5 “1. to measure (the length or/and the width of sth.); 2. to compare, to contrast” (Luo (1999: 171))。全体としては「割り当てて測る」の意か。

#### 第十八通 (第34-35葉)

隴川宣撫司舍人多卓孟告稟  
雲南三司大人知道今年二  
月初九日有木邦宣慰罕列起調  
大勢人馬到我奴婢地方將衙  
門放火燒毀財物盡行搶擄似  
這等不知宣慰罕列因何沒道  
理望  
衆大人與我奴婢處置他犯法  
的人便益

- 1) mōw wan sǎñ phu sōw chǐe yin tǎ cǎ mōng le hau lau  
隴川宣撫司舍人多卓孟《而》告稟
- 2) mōng chǐe [3] sōw phu ñau ru ne | kau ping wing nan sam sōw taa yin cii  
雲南三司大人知道《矣》告稟雲南三司大人知
- 3) taw le pii nai nōn [2] nai [9] wan<sup>(1)</sup> | kin nañ 'ōw we cho kǐaw yii le ñang  
《道》《而》年今月二初九日《今年二月初九日》《而》有
- 4) mōng pūang sǎñ wii<sup>(2)</sup> kham lǐe | yǐaw mu pang sǎñ wii kham lǐe le ku nii ñau  
木邦宣慰罕列《有木邦宣慰罕列》《而》起調大
- 5) sōk ñau<sup>(3)</sup> khii taw taa chii yin maa le thōng kaw khraa mōng man | taw 'ǎ  
勢《起調大勢人馬》《而》到我奴婢地方《到我
- 6) no poy tii phang le 'au<sup>(4)</sup> chōng chǐe phai sǐe sing yau<sup>(5)</sup> | cang yaa mon phang  
《奴婢地方》《而》將衙門火《了》《盡》《了》將衙門放
- 7) khǎ caw hoy le khūan ling tang nan rǐang 'au<sup>(6)</sup> yau | sai wok sǎñ hing  
《火燒毀》《而》財物盡行搶擄《了》《財物盡行

- 8) chang lu le pōw nang nai maw ru sǎñ wii kham lǐe pōw sang<sup>(7)</sup> maw cūang tang<sup>(8)</sup>  
 搶擄《而》似等這不知宣慰罕列因何沒道理
- 9) sii cii tōng pok cii sǎñ wii kham lǐe ying khǎ mǔak taw li ne wan  
 似這等不知宣慰罕列因何沒道理《矣》望
- 10) tang lai phu ñau tii kaw khraa tin phrūan man phit cūang<sup>(9)</sup> phu kon<sup>(10)</sup> nẹ | wang  
 衆大人與我奴婢處置他犯法人《矣》望
- 11) cong taa yin wii 'ǎ no poy cho cii thaa phan phak tii yin pañ yii..  
 衆大人與我奴婢處置他犯法的人便益

- (1) pii nai nōn [2] nai [9] wan : 漢文面「今年二月初九日」。「今年」: pii nai は雑字続編100に立項されている。以下は逐語訳すると「月-2-この(?) -9-日」となる。雑字続編には「二月」など月名が立項されているが、ここでは「数字+ nōn」の語順となっていて本例とは異なる。wan は TN、wan2 “1. the sun; 2. day” (Luo (1999: 215)) に当たるが、雑字では複合語 kang wan の形で現れる(雑字5「日」)。
- (2) sǎñ wii : 漢文面「宣慰」。漢語からの借用語。
- (3) ku nii ñau sōk ñau : 漢文面「起調大勢人馬」。よく似た文言「擅起人馬」cūang ku nii sōk が東洋文庫本来文第十二通に見え、泉井(1949: 271)は「引く-各(人)を-赴く-軍, 戦ひ(に)」と逐語訳している。按ずるに、泉井氏が「各(人)」と解している ku は「各」の意で確かに来文中の他の箇所に見えている(cf: 第九通注(10)。TN、ku6)が、漢文面の“起”とは意味が合わない。ここは TN、ku4 “to raise, lift, to straighten” (Luo (1999: 53)) で解釈すべきで、本篇の ku も同様の扱いとすべきである。nii は TN の lii1 “to move, to migrate” (Luo (1999: 71))、及び雑字307「逃」nii に当たり泉井氏の「赴く」の解釈は首肯できる。sōk は TN、sək3 “army” (Luo (1999: 161))、及び雑字371「軍」lok sōk の第二要素に当たり、泉井氏が「軍, 戦ひ」と解したのは正しい。ñau は「大」(雑字656)であり、nii ñau sōk ñau が ACBC 型の四字格を取っている。
- (4) 'au : この語は本例も含め、来文中(東洋文庫本第7, 8, 10, 11通)では処置式的「将」の対訳として用いられるが、雑字では「娶」の訳として現れる(303)。「取る」の意。TN、au6 “1. to take; 2. to fetch; [...] 4. to marry, 5. disposal or object-raising marker, [...]”。(Luo (1999: 4))。この動詞は、上引の Luo (1999) の義項第5にも表れているように、僚語諸方言でも一種の処置式を導く介詞として用いられる('au の介詞用法について、羅(2008: 99)参照)。
- (5) phai sǐe sing yau : 漢文面「放火烧毀」。phai は「火」(雑字328「吹火」pǎu phai)、sing は東洋文庫本来文第七通に「不尽」maw sing として見え、TN、siŋ4 “to finish, to complete; 2. to spend, to cost, to take” (Luo (1999: 154)) に当たる。sǐe は TN、sɛ2 “to end, to finish” (Luo (1999: 149)) に当たり、本来は動詞であると思われるが、泉井(1949: 249)によれば「行為の完成, 完了を表す助動詞」で、来文中の nac sǐe「催取」、rǐañ sǐe「辦納」などにも見えている。但しここでは「火」phai という名詞についている。yau については第十七通の注(7)を参照。
- (6) tang nan rǐang 'au : 漢文面「尽行搶擄」。東洋文庫本来文第七通に「截路劫搶」phaa tang rǐang 'au という類似の語句が見え、泉井(1949: 271)は「裂く-道(を)-奪ひ-運ぶ」と逐語訳をつけている。本例の tang は漢文面「尽」に対応すると見られるので、「道」ではなく「すべて」“entirely”の意(第十通注(4)参照)に取りたい。nan は雑字649「直」nan に見えるが不詳。rǐang は TN、heŋ2 “1. strength, force, power; 2. to be strong, to have strength” (Luo (1999: 26)) に相当するか。'au

は「取る」(本篇注(4))。全体では「すっかり・まっすぐ(?)・力で・取る」。

- (7) pōw sang: 漢文面「因何」。pōw は「因」(第十三通注(2)参照)。sang は saŋl “what” (Luo(1999: 145)) に相当する。「何」を意味する疑問詞 sang は、中国のチワン・トン諸語の中では傣族の言語に集中して分布しているようだ。
- (8) cūang tang: 漢文面「道理」。cūang は泉井(1949: 257)が東洋文庫本来文第四通に出現する「法度」cūang-khūam に対して施した注釈によれば「法」の意味で、根拠としてシャン語 sūang 《rule, law》が提示されている。tang は「道」(第十六通の注(2)参照)。
- (9) phit cūang: 漢文面「犯法」。phit は泉井(1949: 257)がシャン語形を挙げて語釈するように《争ふ、罪を犯す》の意。TN、phitl “1. to make mistakes, to err, to do wrong, to commit an offence, to offend. [...]” (Luo (1999: 135))。cūang は「法」(本篇注(8))。
- (10) phu kon: 漢文面「人」。第五通注(10)を参照。

## 索引

A, B 二種の索引を作成した。どちらも、百夷語のローマ字転写の声母のアルファベット順に配列し、対応する漢文面と出現箇所(例: 5-1は「第五通第一行」)を示す。

### A 「雑字」に見える語の索引

\* 来文に用いられた百夷語の語句のうち雑字に立項されているものを集め、その語句が雑字のどこに見えるかを明示することがこの索引の使命である。

\* 漢文面の右隣の数字は、雑字における項番号(泉井(1949)のそれと一致するが、678以降は「後附50項目」である。また続編に見える語項目については、ベルリン本に基づいて項番号をつけ、表示に当たり「続」を冠した)。

\* 来文において対応する漢文面と、雑字での見出し漢語の字面とが異なる場合、雑字の項番号の後ろに“ ”に包んで雑字における見出し漢語を記す。

'au	将	303 “娶”	18-6; 18-7
'ūan	引領	693	10-9
cang kūan	長官	続188	9-1(2); 10-1(2)
cau	早	91	16-6
cau ma'	差来	705	16-1
com kaa	印信	685	15-2; 15-5
chīe yin	舍人	365	18-1
chōng chīe	衙門	続219	9-4; 18-6
hau lau	奏	678	5-1; 9-1; 10-1; 13-1; 13-2; 15-1; 16-1; 17-1[告稟]; 18-1[告稟]
it no	(可)憐見	703	5-9; 10-8; 13-11; 15-10
kaṃ naa	前	642	5-7; 9-8
kaṃ nōw	上	644	16-3; 17-3
koai	遠	660	10-2; 15-5
kōt rang	違悞	710	【maw kōt maw rang】 5-5; 9-6[- kōöt- -]; 10-5
krau cau	切思	223 “思”	15-5
khaṃ	金	598	9-7
khon-mōng	土官	388	5-1; 15-1; 15-5

khôn lau	具奏	679	17-10
khũaṃ tai	夷語	727	10-7
khraa	奴婢	368	5-4; 9-2; 10-2; 10-5; 10-9; 13-4; 13-6; 13-12; 15-5; 15-7; 15-11; 16-2; 16-5; 17-3; 17-10; 17-11; 18-5; 18-10
lau yǎng	奏討	686	15-3
lả	鑄	統282	15-11
lok cai	男	350 “子”	10-6
map caa	打攪	710 “擾害”	13-8
mre wai	收拾	251	17-5
mok rả	冠	554 “[~thang mǎu] 紗帽”	9-4
mõng chĩe	雲南	62	5-1; 18-2
mõng man	地方	59	5-4; 10-2; 10-5; 13-4; 13-6(2); 13-8; 17-3; 13-7; 18-5
mõng naa	干崖	67	17-6
mõw 'uan	比先	716	15-2; 17-2
mõw nai	今	統117	5-6; 9-7; 16-5[p <sup>x</sup> õw nai]; 17-8
mõw wan	隴川	70	18-1
nac sĩe	催取	694	17-4
nai yu nai svau	安業	708	5-4
nan	行	649 “直”	18-7
nap wai	收了	704	5-9; 9-10
nin	地	統41 “坤”	5-2; 13-2
nok yong	孔雀	171	【nok rang yong 「~尾」】 5-7
nõn	月	6	18-3
ñang	有	664	10-5; 10-6; 13-4; 13-7[yu - “住”]; 17-6; 18-3
ñang	蒙	680	9-3; 17-3
ngan phuu	安撫	387	16-1
ngõn	銀	599	9-7; 13-5; 13-7; 17-5
ngõn kõn	差發	700	9-6; 10-3; 17-4; 17-7
pai	去	247	5-7; 9-8; 10-9; 15-8; 16-6
pả	父	342	9-2; 10-9
pii	年	95	10-3; 10-6 * 又見 pii nai 「今年」
pii nai	今年	統100	18-3
poong hau	給賜	688	9-4; 15-4[給]; 15-11[給]
poot hac	設立	689 “開設”	9-4
põw nai	因此	722 “為因”	15-7; 16-4
pu	祖	340 “公”	9-2
pvak mõw	回去	706	16-5
phaa	天	1	5-2(2); 5-3; 5-9; 9-2; 9-4; 9-10; 10-2; 10-8; 10-11; 13-2(2); 13-3; 13-11; 15-2; 15-10; 16-2
phu ñau	大人	統187	17-2; 17-6; 17-10; 18-10

rĩac thin	管理	690	9-5, 17-11[管業]
rĩañ sĩa	辦納	695	5-5; 9-6; 10-3; 17-7
ru	知道	221 “知”	5-2; 9-2; 10-2; 13-2; 15-2; 16-2; 17-2; 18-2
ru rĩat	通曉	726	10-7
sai rang	帶	556 “[~ kham]金帶”	9-5
sĩañ phuu	宣撫	386	17-6
sĩañ wii	宣慰	385	18-4; 18-8
sĩang kong	進貢	290	5-8, 9-8; 10-9; 15-8; 16-2
tai lik	民	372	5-4; 9-5; 13-5; 13-8; 15-6
tả nai	如今	719	13-3
tii lam	通事	390	10-5; 10-9
thau mống	頭目	389	15-8; 16-1
thũak khõn	退還	714	17-9
wan	望	681	5-8; 10-7; 15-9; 17-9; 18-9
wãng tĩa	皇帝	330	5-2; 5-3; 5-9; 9-2; 9-4; 9-10; 10-2; 10-8; 10-11; 13-2; 13-3; 13-11; 15-2; 15-10; 16-2
[1]	一	618	15-11, 17-5[二], 17-7
[2]	二	619	5-6; 15-8; 18-3
[3]	三	620	18-2
[8]	八	625	5-7
[9]	九	626	18-3
[10]	十	627	17-5

B 「雜字」に立項されていない語句の索引

cam	《近い》	10-3	
cang	象	5-6; 15-8	
cau	差	5-7; 15-3; 15-8; 16-6; 17-3	
cii chii	知事	17-3	
cii phuu	知府	5-1; 15-1	
cing kin	占了	17-7	
com khũam	蒙准	15-4	
com mũau	新印	15-4; 15-11	
cu khũam	信服	15-6	
cũai	替	10-8; 13-12	* 又見 pũai cũai 「転替」
cũang tang	道理	18-8	
chaw thin	朝廷	17-11	
chok	是	15-5	
hau	着	9-5; 10-8	
kam wai	禁約	13-12	
kaw	我	5-3; 9-2; 10-2; 10-2; 10-5; 10-9; 13-4; 13-6; 13-12; 15-5; 15-7; 15-11; 16-2; 17-	

		3; 17-7; 17-10; 17-11; 18-5; 18-11
kả lak	普	5-2; 13-2
kon	人	5-7; 15-3
ku cǔang	等件	9-7; 13-9[ko -, (物)件]
khĩañ	可(憐見)	5-9; 10-8; 13-11; 15-10
	乞	15-10; 16-5
khok	挖	13-7
khon tang	路途	16-3
khřong	器	9-7(2)
khũan ling	財物	13-9[物]; 18-7
lac	(義不詳)	15-11
lai lai	累次	15-3
lak	偷盜	13-9
lau	勅	15-10
lả ling	応付	16-3
le	《而》	5-1; 5-2; 5-3; 5-4; 5-5(2); 5-6; 5-7(2); 5-8; 9-1; 9-2; 9-3; 9-4; 9-5; 9-6(2); 9-7; 9-8; 9-9; 10-1; 10-2; 10-3; 10-5; 10-6(2); 10-7; 10-8; 10-9; 10-10; 13-1; 13-2; 13-3; 13-4; 13-5; 13-6; 13-7; 13-9; 13-12; 15-1; 15-2; 15-3; 15-5; 15-7; 15-9; 15-10; 15-11; 16-1; 16-2; 16-3; 16-4(2); 16-5; 17-1; 17-2; 17-3; 17-4; 17-5(2); 17-6; 17-8; 17-9; 18-1; 18-3(2); 18-4; 18-5; 18-6; 18-7; 18-8
li pu	礼部	15-11
ma'	来	13-6; 16-2; 17-3 * 又見 ma' phai nai 「以来」、cau ma' 「差来」
ma' phai nai	以来	9-2
man	他	10-6; 10-8; 13-12; 18-10
maw	不	5-5; 5-6; 9-6; 9-7; 10-4(2); 10-6; 13-8; 15-6; 16-3; 18-8; 18-8[没]
maw su	不肯 →	su 「肯」を見よ
mả	鋤	13-4; 13-7
mii	有	15-5
möng	地方	5-2; 13-2; 15-5
nai	得	10-6 * 又見 rĩañ nai 「備得」
nai	初[この]	18-3 * 又見 ma' phai nai 「以来」、möw nai 「今」、pii nai 「今年」、pöw nai 「因此」、pöw nang nai 「因這等」、tả nai 「如今」。
nang	似	5-3 * 又見 pöw nang nai 「因(/似)這等」。
nap hau	交納	17-5
né	《矣》	5-2; 5-9; 9-2; 9-10; 10-2; 10-11; 13-2; 13-12; 15-2; 15-11; 16-2; 16-6; 17-2; 17-11; 18-2; 18-9; 18-10
no	就	17-5
nöw	上	5-2; 13-2
pa'	往来	10-6
pai kĩañ	拝見	10-10

pōn	本	13-5; 13-6
pōw	因	13-4; 15-2 * 又見「因此」 pōw nai、「因這等」 pōw nang nai、「因何」 pōw sang
pōw nang nai	因這等	13-9, 18-8[似這等]
pōw sang	因何	18-8
pūai	又	13-9
pūai cūai	轉替	17-10
phak phre kan	背離	13-5
phit cūang	犯法	18-10
phre tac	分豁	17-11
phu kon	人	5-4; 9-5; 13-5; 13-8; 15-5; 18-10
raṃ	失落(了)	15-2
rang	尾	5-7
rīañ nai	備得	5-6; 9-7; 15-7
rīang 'au	搶擄	18-7
sii	並	5-5; 9-6; 10-4
sīang yau	管理	5-3; 13-3
sōw	司	9-1; 10-1; 13-1; 16-1; 17-1; 18-1; 18-2 * 又見「布政司」 pu cing sōw
sot	尽	10-2
su	肯	15-6; 16-3
tang	《すべての》	10-3[(年)例]; 18-7[尽]
tang lai	衆	17-6; 17-10; 18-10
tii	処	10-2; 10-11; 13-5; 13-11; 17-6; 17-7
tin phrūan	処置	13-12; 18-10
to	我每	16-6
tu	隻	5-6; 15-8
tu	每	16-5; 17-7 * cf: to
tūau	下	5-2; 13-2
thau	老	10-6
thōng	至	17-8; 18-5[到]
wai tang	留難	16-4
wan	日	18-3
yang pūai	未	15-4; 17-9[尚未]
yau	絶	13-8
yau	了	17-6; 18-6[φ]; 18-7[φ]
yu	在	10-2; 13-7[住] * 又見5-4 “nai yu nai svau 安業”

#### 参考文献

泉井久之助 (1949) 「百夷館雜字並に來文の解説」、『比較言語学研究』(創元社)、191-304頁。  
 更科慎一 (近刊 a) 「『百夷館訳語』來文に見られる明代漢語の表音システムについて」、『東アジア文

化の歴史と現在』掲載予定。

更科慎一（近刊 b）『『八百館来文』に見られる八百文字表記漢語について』、『山口大学文学会志』第 72 卷掲載予定。

周耀文・方峰和・郝衛寧（2005）《德宏傣语同音词典》，民族出版社。

西田龍雄（1960）「十六世紀におけるパイ・イ語-漢語、漢語-パイ・イ語単語集の研究」、『東洋学報』43-3、1-48 頁。

西田龍雄（2001）「百夷文字」、『言語学大辞典 別巻 世界文字辞典』（三省堂）、807-811 頁。

喻翠容・羅美珍（2004）《傣仂汉词典》，民族出版社。

羅美珍（2008）《傣语方言研究（语法）》，民族出版社。

Li, Fang Kui（1977）, *A Handbook of Comparative Tai*, The University Press of Hawaii.

Luo Yongxian（1999）, *A Dictionary of Dehong, Southwest China*, Canberra: Pacific Linguistics, The Australian National University, 1999.